

令和8年度 墨坂中学校区 小中連携学力向上グランドデザイン（案）

須坂市教育大綱

3 特色ある教育の推進

地域の子どもは地域で育てる基本理念の下で、主体的・対話的で深い学びやICTの活用等を推進し、次代を担うたくましい人材を育む教育のまちを目指します。

墨坂中学校区 目指す子どもの姿

問いや願いをもち、友と関わり合いながら、粘り強く追究していく児童生徒

墨坂中学校区 児童生徒・学区の状況

- ・5校共通の重点として育成する資質・能力を「自ら進んで学びに取り組む力」「基礎的な資質・技能」とし、各校の研究につなげながら、実践を積んでいくこと。
- ・重点とする資質・能力を身につけることで、「問いや願いをもち、友と関わり合いながら、粘り強く追究していく児童生徒」を育むこと。

目指す子どもの姿へのアプローチ

須坂市の3つの学力課題への取組

ICT（一人一台端末）の活用への取組

課題1 小学校高学年、中学生の学力向上

- 日々の授業を改善する
 - ・問いや願いからはじまり、友と対話をしながら追究し、学びを振り返る授業をつくる
 - ・追究場面の工夫、教師の言葉がけの工夫等、学びを支える教師の支援の力を高める
- 自ら学習を進めていく力を育む
 - ・ドリル学習の時間を設定し、取り組み方、取り組む内容の工夫を重ねる
 - ・自由進度学習の実践を重ねる

課題2 基礎基本定着の仕組みづくり

- 日々の授業を改善する
 - ・基礎基本の定着を図る時間を授業の中に位置づける
- ドリルの時間の充実
 - ・全校で取り組むドリルの時間を日課に位置づける
 - ・取り組み方、取り組む内容の工夫を重ねる

課題3 D層の児童生徒の底上げ

- 関わり合いのある授業
 - ・小グループや異年齢による学習など、対話場面を授業に位置づける。
- 繰り返し取り組む場面の確保
 - ・ドリルの時間、授業内に、繰り返し取り組む場面を位置づける
 - ・基礎基本を身につけるための家庭学習を位置づける

- 授業に活かす
 - ・問いや願いをもつ場面、友と対話をしながら追究する場面、学びを振り返る場面などでgoogle、学習ソフト等を活用する場面を設ける
- ドリル学習に活かす
 - ・デジタルドリルの活用を進める
- 教師の力量を高める
 - ・職員研修の時間を設定し、デジタル教科書、デジタルドリル、各種学習ソフトを使った学びを提供する教師の力を高める

墨坂中学校区 小中連携学力向上推進委員会の組織及び取組

◇組織

高甫小学校長、○高甫小学校教頭、各校学力向上担当教員

◇取組

- ・高甫小学校による公開授業において、児童の具体的な姿を見合うこと
- ・児童の具体的な姿から、授業改善、学力向上に向けた取組を考え合うこと
- ・全国学力学習状況調査、総合学力調査の結果から、成果と課題を見つけ、課題解決に向けた取組を考え合うこと



推進計画及び推進日程

各校校長、教頭、教職員参加

- ・7月6日 墨坂5校学力向上研修会② 授業公開（高甫小学校）
- ・8月下旬以降 墨坂5校学力向上研修会③ 研修会（参集または各校）

各校教頭、学力向上担当教員参加

- ・6月5日 墨坂5校学力向上研修会① 情報交換会
- ・12月21日 墨坂5校学力向上研修会④ 情報交換会
- ・1月15日 墨坂5校学力向上研修会⑤ 研究のまとめ